

# 第1学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 ばめんのようすをおもいうかべながらうたおう  
 2 教材 「はる なつ あき ふゆ」 三浦 真里 作詞・作曲  
 3 指導に当たっての考え方

教材分析		
<p>楽曲「はる なつ あき ふゆ」は、生き物や自然の様子から四季折々の情景や印象をとらえた曲である。特徴的な要素は以下の通りである。</p> <p>歌詞：ちょうちょうがあいさつする優しい「はる」                      大きくなくじらがざぶんともぐる元気な「なつ」                      こりすが急いでお出かけするはずむような「あき」                      小さな星が光る静かな「ふゆ」</p> <p>リズム：8分音符の繰り返しになっている。                      旋律：順次進行がほとんど。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>以上のような教材であるので、様子を思いうかべてイメージをふくらませながら、表現を工夫することができると思う。</p>	
児童の実態		
<p>○ ほとんどの児童は歌うことが好きで、身体を動かしながら音楽を楽しむことができるが、自分の世界に入り込んでしまう児童や、歌うことに抵抗をもっている児童がいる。</p> <p>○ 楽曲全体の気分を感じ取って歌おうとする姿勢が見られるようになった。しかし、その表現についての工夫は十分ではない。</p> <p>○ 音程やリズムを正しく歌ったり、歌詞を明瞭に発音したりするなどの基礎的な表現技能について、少しずつ身につけてきているが、まだ不十分である。</p>		
聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<p><b>楽曲の気分や特徴を聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞の表す内容の情景面の提示</li> <li>◎ 歌詞に着目し楽曲の気分をつかませるための範唱CDの聴き取り</li> <li>◎ 次時学習への思いを抱くための聴き取り</li> </ul>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 色々な季節の歌で楽しいな。</li> <li>・ ちょうちょうやくじらやこりすになって歌いたいな。</li> </ul>	<p>歌詞の表す情景を思いうかべ、「たんぼぼ」や「ちょうちょう」になった気分でも歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの季節の場面を歌った曲であること</li> <li>○ 正しい歌詞、音程で歌うこと</li> <li>○ 優しい「はる」の気分を感じ取ること</li> </ul>
<p style="text-align: center;">思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 場面の様子に合った歌い方の工夫をするための教師の範唱による聴き比べや聴き取り</li> <li>○ 歌詞に着目した児童の自然な身ぶりの取り入れ</li> <li>○ 場面の様子を捉えやすいペーパーサートの提示</li> </ul>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 春は優しく歌ったから、夏は元気に秋はかわいく冬は静かに歌うといいよね。</li> </ul>	<p>登場人物になりきってそれぞれの季節にふさわしい表現の仕方を工夫すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの季節の場面に合った歌い方の工夫をすること</li> <li>○ 歌詞や情景面に着目して歌い方を工夫していくこと</li> </ul>
<p><b>思いを込めた表現を味わい音楽のよさを感じ取るための聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 2つのグループに分かれての聴き合い</li> </ul>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;">味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節にあった歌い方をすると楽しかったね。</li> <li>・ 登場人物になって歌うと楽しかったね。</li> </ul>	<p>登場人物になりきってそれぞれの季節の場面を想像しながら歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聴き合う場をもうけ、工夫した歌い方ができていたか聴くこと</li> </ul>
題材目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽曲の気分を感じ取って、春・夏・秋・冬の様子を想像しながら、歌おうとしている。<span style="float: right;">(関心・意欲・態度)</span></li> <li>○ 場面の様子を思いうかべながら、その様子がわかるように歌い方を工夫することができる。<span style="float: right;">(感受・表現の工夫)</span></li> <li>○ 自分の歌声や発音に気をつけて、正しい音程で歌うことができる。<span style="float: right;">(表現の技能)</span></li> </ul>		

4 指導計画(2時間)

	つかむ① (1の3本時)	深める・味わう① (1の1本時)
ねらい	歌詞の表す情景を思いうかべ、「たんぼぼ」や「ちょうちょう」になった気分で歌うことができる。	それぞれの季節にふさわしい表現の仕方を工夫して歌うことができる。
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの季節の場面を歌った曲であること</li> <li>○ 正しい歌詞, 音程で歌うこと</li> <li>◎ 優しい「はる」の気分を感じ取ること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 場面の様子の違いがわかるような歌い方を工夫すること</li> <li>◎ 登場人物になりきって歌うこと</li> </ul>
主な学習活動と内容	<p>1 楽曲「はる なつ あき ふゆ」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 範唱CDを聴き、曲名について話し合う。 【聴く活動①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4つの季節の場面を歌った曲であること</li> <li>○ それぞれの季節の登場人物を見つけながら聴くこと</li> </ul> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>とうじょうじんぶつを おもいうかべながら うたおう。</p> </div> <p>2 歌詞に気をつけて聴き、登場人物の様子を思いうかべながら歌う。</p> <p>(1) 範唱CDを聴き、曲想を感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞を確かめながら歌うこと</li> <li>○ 音程, 発音に気をつけて, 正しく歌うこと</li> </ul> <p>(2) 「はる」の歌詞内容について話し合い、様子を思いうかべながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ちょうちょうの言った言葉やたんぼぼの様子を想像し, 優しい春の気分を感じ取ること</li> <li>○ たんぼぼやちょうちょうになって, 歌詞の様子に合った自分なりの歌い方の工夫をすること</li> </ul> <p>3 本時学習のまとめとして歌い, 次時学習への思いをもつ。</p> <p>(1) 「はる」の様子を思いうかべながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ たんぼぼやちょうちょうになって, 優しい「はる」を歌うこと</li> </ul> <p>(2) 本時学習をふり返り, 次時学習について話し合う。 【聴く活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教師の範唱を聴き, 次時学習では, それぞれの場面の様子にあった歌い方を工夫すること</li> </ul>	<p>1 前時学習を想起し, 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <p>(1) 「はる なつ あき ふゆ」を歌い, 前時学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ たんぼぼやちょうちょうになって, 優しい「はる」を歌ったこと</li> <li>○ 1番の歌い方では, 2番は合わないこと</li> <li>○ 本時学習では, 夏・秋・冬の歌い方を工夫して歌うこと</li> </ul> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>とうじょうじんぶつになって くふうしてうたおう。</p> </div> <p>2 歌詞や情景画を見ながら, 曲想にあった歌い方の工夫をして歌う。 【聴く活動③】</p> <p>(1) 2番の歌詞に着目しながら, 場面の様子に合うように工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞に着目して, 身ぶりをに入れてくじらになって歌うこと</li> </ul> <p>(2) 3番の歌詞に着目しながら, 場面の様子に合うように工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞やペーパーサートの動きに着目して, こりすになって歌うこと</li> </ul> <p>(3) 4番の歌詞に着目しながら, 場面の様子に合うように工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分なりに工夫して歌うこと</li> </ul> <p>3 本時学習のまとめとして歌う。</p> <p>(1) 「はる なつ あき ふゆ」をつないで歌う。</p> <p>はる→なめらかに なつ→元気にゆったりと あき→はずむように ふゆ→1・2・3番よりも弱く</p> <p>(2) 2つのグループに分かれて聴き合い, 感想を発表する。 【聴く活動④】</p> <p>はる→たんぼぼ, ちょうちょうになって なつ→くじらになって あき→こりすになって ふゆ→ほしになって</p>

5 本時 つかむ段階（1 / 2）

6 本時の目標

曲の気分を感じ取り、歌詞や旋律を正しく歌い、「はる」に出てくる「たんぼぼ」や「ちょうちょう」になった気分ですることが出来る。

7 準備 教師：伴奏・範唱CD、歌詞カード、情景画（はる なつ あき ふゆ）、ペープサート

8 本時指導の考え方

本時は、曲の気分を感じ取り、正しい歌詞や旋律で歌い、「はる」の歌詞の様子に合った歌い方を工夫することが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、楽曲に出会う場面で、範唱CDを聴き曲想をつかませる。【聴く活動①】そのために、四季の情景画を提示し、歌詞内容を想像しやすいような場をつくる。範唱CDや情景画から、4つの季節の場面を歌った曲であることに気づかせる。それぞれの季節の登場人物をつかませた後、めあてについて話し合わせる。

【聴く活動①】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
曲の気分や4つの場面の曲想の変化を感じ取らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴く視点を明確に持たせ、範唱CDを聴かせる。</li> <li>・場面の様子に浸らせるために、四季の情景画を提示する。</li> <li>・それぞれの表す情景画がどの季節か考えさせたり、登場人物のカードを貼ったりして、楽曲が4つの季節で構成されていることに気づかせる。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">     </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 5px;"> <span>《はる》</span> <span>《なつ》</span> <span>《あき》</span> <span>《ふゆ》</span> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たんぼぼ</li> <li>・ちょうちょう</li> <li>・くじら</li> <li>・こりす</li> <li>・ほし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はる、なつ、あき、ふゆのことがうたっているよ。</li> <li>・なんだかたのしいかんじがする。</li> <li>・2ばんは、おおきなくじらさんがでてきたよ。おおきくげんきなかんじがするよ。</li> <li>・1ばんから4ばんまで、なんかちがうきがする。</li> </ul>

- 次に、歌詞をはじめから提示することはせず、範唱CDや情景画からそれぞれの季節の様子を確かめていく。児童が聴き取った歌詞カードを情景画に付け加えていき、範唱CDを聴いたり歌ったりすることを繰り返しながら、歌詞を完成させ正しく歌えるようにする。また、発音しにくいところや歌いにくいところなどを部分的に取り出して正しく歌うようにする。

- さらに、ペープサートを使ってちょうちょうの言った言葉やたんぼぼの様子を想像させ、登場人物の様子を歌で表現するためにどんな歌い方をすればよいか考えさせる。どちらが「はる」の気分を感じられるか教師の歌で聴き比べさせ、自分なりの「はる」の優しい表現へつないでいきたい。

- 最後に、教師の範唱を聴き「なつ あき ふゆ」の歌い方が「はる」の歌い方では合わないことに気づかせ、次時は、それぞれの場面の様子にあった歌い方を工夫するように意欲を高めていきたい。

【聴く活動②】

【聴く活動②】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
それぞれの場面の様子にふさわしい歌い方があることに気づき、次時学習への思いを抱かせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が、春の優しい歌い方で「なつ あき ふゆ」を歌い、聴き取りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「なつは、げんきがないなあ。」</li> <li>「はるのうたいかたでは、なつは、あわないなあ。」</li> </ul>



5 本時 深める・味わう段階（2／2）

6 本時の目標

歌詞の表す情景を思いうかべ、それぞれの季節（夏・秋・冬）にふさわしい表現の仕方を工夫することができる。

7 準備 教師：範唱 CD、縦書き歌詞、情景画（春・夏・秋・冬）

8 本時指導の考え方

本時は、前時で学習した 1 番での歌い方の工夫をもとに、2 番 3 番 4 番の場面の様子や楽曲の気分にあった歌い方の工夫をして歌うことをねらいとしている。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。

- まず、前時で学習した 1 番を「ふわふわとゆれる感じ」で「やさしく」歌ったことを想起し歌う。その後 2～4 番では季節が異なり、登場人物がそれぞれ違うことを確認し、それぞれの季節の場面にふさわしい歌い方を工夫して歌いたいという本時のめあてについて話し合わせていきたい。

- 次に、それぞれの場面の様子や曲想にふさわしい歌い方の工夫をしていく。【聴く活動③】

夏の場面では、2 番の歌詞をもとに「大きなくじら」が「ざぶんともぐる様子」を身ぶりを入れたり歌詞や情景画をもとに 1 番よりも「たっぷり大きな声」で「ゆったりと」歌う工夫に目をむけさせていきたい。その際、身ぶりばかりに集中して歌声に工夫がみられにくい時には、教師の範唱による聴き比べをする。

秋の場面では、「こりす」が「ちょろり」と「いそいでおでかけ」している様子を表した曲想に合うように「なめらかな歌い方」よりも「小さく弾んで歩くような」歌い方の工夫をしていく。そのために 2 番の大きなくじらとの大きさの違いやこりすの動きなど、場面の様子の違いをペープサートや情景画を使って気付かせ、身ぶりを入れて確かめていく。そして、1・2 番の歌い方の工夫と比べながら 3 番の秋にふさわしい歌い方を工夫していく。ここで、代表児による表現の発表の聴き取りをする。その際、身ぶりに視点がいくと予想されるので、歌声の工夫につながるように、レガートとスタッカートでの教師の範唱による聴き比べをする。

冬の場面では、「小さな星が夜空で光る」様子が分かるように、声は小さめに優しく歌っていききたい。そのために、教師が範唱をしながら星を情景画に貼り加えていき静かできれいな夜を聴き取れるようにする。そして、1・2・3 番の歌い方の工夫と比べながら 4 番の冬にふさわしい歌い方を工夫していく。

【聴く活動③】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
夏・秋・冬それぞれの場面の様子や曲想にふさわしい歌い方になっているか聴き取り、歌い方を工夫していく。	2 番「大きなくじらざぶんともぐる」 ・教師の範唱による聴き比べをする。 ①大きな身ぶりを入れて f で歌う。 ②大きな身ぶりを入れて p で歌う。 3 番「こりすがちょろり～～あきのもり」 ・友達による表現の発表の聴き取りをする。 ちょろちょろとした動きの児童を抽出する。 ・教師の範唱による聴き比べをする。 ①ちょろちょろとした動きでレガートで歌う。 ②ちょろちょろとした動きでスタッカートで歌う。 4 番 ・教師の範唱による聴き取りをする。	・大きなくじらだから大きな声で歌った方がいいな。  ・Aさんは、ちょろちょろとしたかわいいこりすになって歌っているね。 ・ちょろちょろとした動きには、弾んだような歌い方が合うね。  ・4 番は静かな感じがするなあ。

- さらに、全体でつくってきた歌い方の工夫を確かめ歌う。その際、工夫点ができているかきちんと確認する。できていない箇所については、何度か繰り返しながら季節の様子が歌い方に表れるようにする。

- 最後に、友達の歌い方の工夫やそのよさが味わえるように 2 つのグループに分けて聴き合い、感想を発表する場を設定する。【聴く活動④】聴き合う時には、①登場人物になりきって歌っているか。②工夫した歌い方が歌声できこえたか。という観点をもたせて聴き合いをさせ、友だちの表現のよさに目を向けさせる。また、教師も表現の高まりを賞賛し、満足感を感じさせるようにする。

【聴く活動④】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
4 つのそれぞれの場面の歌い方の工夫のよさを感じとる。	・ 2 つのグループに分けて友達の歌声を聴き合わせる。 ・ 聴く観点を明確にして聴かせる。 ①登場人物になりきって歌っているか。 ②工夫した歌い方が歌声できこえたか。 ・ 教師が表現の高まりを賞賛する。	・ Aさんの、大きなくじらの所が大きな感じがしてよかったです。 ・ Bさんの、こりすがかわいかったです。 ・ 冬が静かできれいな声が聴こえてきました。

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p><b>1 前時学習を想起して歌い本時学習のめあてについて話し合う。</b></p> <p>(1) 「はるなつあきふゆ」を歌い、前時学習を想起する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ たんぽぽやちょうちょうになって、優しい「はる」を歌ったこと</li> <li>○ 1番の歌い方では、2番は合わないこと</li> </ul> <p>(2) 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">とうじょうじんぶつになってくふうしてうたおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時では、夏・秋・冬の歌い方を工夫して歌うこと</li> </ul> <p><b>2 歌詞や情景画を見ながら曲想にふさわしい歌い方の工夫をして歌う。</b></p> <p>【聴く活動③】</p> <p>(1) 2番の歌詞に着目しながら場面の様子にあうように工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞に着目して身ぶりを入れてくじらになって歌うこと</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>おおきなくじら → ゆったり、大きな声で ざぶんともぐる → 深くもぐる様子 たいようきらきら → かがやく様子、きれいな</p> </div> <p>(2) 3番の歌詞に着目しながら場面の様子にあうように工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞やペープサートに着目してこりすになって歌うこと</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>こりすがちょろり → かわいらしく いそいでおでかけ → 急いでいる感じ、はずむように</p> </div> <p>(3) 4番の歌詞に着目しながら場面の様子にあうように工夫して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分なりに工夫して歌うこと</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ちいさなほしがよぞらでひかる → 静かに、きれい きたかぜつめたい → 小さな声で</p> </div>	<p>・ 1番の情景画を提示し、前時学習で工夫した表現「優しいはる」を確認して歌う。</p> <p>・ 教師が春のやさしい歌い方で夏や秋を歌って聴かせることで本時のめあてについて話し合わせ、見通しをもたせる。</p> <p>・ くじらの大きさを感じ取りやすいような情景図の提示をする。</p> <p>・ 「大きな」「ざぶんと」など歌に合わせた児童の自然な身ぶりを取り入れる。</p> <p>・ 身ぶりに集中して歌声に工夫がみられにくい時に教師の範唱による聴き比べをする。</p> <p>・ こりすの様子がわかるようにペープサートで動きを入れて提示する。</p> <p>・ 「ちょろちょろ」とした歌に合わせた児童の自然な身ぶりを取り入れる。</p> <p>・ 代表児による表現の発表の聴き取りをする。その際、身ぶりの方に視点がいくと予想されるので、歌声の工夫につながるように、レガートとスタッカートでの教師の範唱による聴き比べをする。</p> <p>・ 教師の範唱に合わせながら冬の情景画に星を貼り加えていき静かさや美しさの雰囲気を感じ取らせる。</p> <p>・ 「ちいさい」「ひかる」「つめたい」など歌に合わせた児童の自然な身ぶりを取り入れる。</p>
<p><b>3 本時学習のまとめとして歌う。</b></p> <p>(1) 「はる なつ あき ふゆ」をつなげて歌う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>はる→優しく、なめらかに なつ→元気に、ゆったり あき→すこしはやく、はずむように ふゆ→1・2・3番よりも弱く</p> </div> <p>(2) 2つのグループに分かれて聴き合い感想を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>はる→たんぽぽ、ちょうちょう なつ→くじら あき→こりす ふゆ→ほし</p> </div> <p style="text-align: right;">【聴く活動④】</p>	<p>・ 歌い方の工夫を確かめてから歌う。その際、工夫点ができているか確認する。できていない箇所については、何度か繰り返しながら季節の様子が歌い方に表れるようにする。</p> <p>※ 登場人物になりきって体を動かしながら歌っている。</p> <p>・ 表現の高まりを実感することができるように聴き合う前に次の2つの観点を提示する。</p> <p>①登場人物になりきって歌っているか。</p> <p>②工夫した歌い方が歌声できこえたか。</p>